

助産学実習Ⅱ

単位数：2単位

○橋本 美幸：臨床看護学講座准教授
日野 佳菜恵：臨床看護学講座助教
永井 真寿美：臨床看護学講座助教
松浦 志保：臨床看護学講座講師

1. 科目の教育方針

ハイリスク妊産褥婦と胎児・新生児のもつ疾患・リスクおよびその治療・管理について学修し、身体・心理・社会的側面から統合的に対象を理解する力と助産実践力を養う。

ハイリスク児を持つ親とその家族を取り巻く社会環境や援助など様々な問題について学び、医療・福祉など地域関連施設の多職種との協働や連携のあり方、包括的なケアについて探求できる力を養う。ハイリスク母児へのケアや援助を通して看護職の倫理的態度について考察を深める。また、ハイリスク児を尊重したケアについて理解できる。

2. 教育目標

- 1) 無痛分娩を行う産婦の管理及び助産ケアを指導のもと実践できる。
- 2) ハイリスク妊産婦の病態、治療方針、管理について理解し、助産過程の展開と対象の状態に応じた助産ケアを、指導者の指導のもと実践できる。
- 3) ハイリスクの妊産褥婦の心理的、社会的影響をアセスメントし、包括的なケアを導き出せる。
- 4) ディベロップメンタルケアなど新生児を尊重したケアについて理解できる。
- 5) ハイリスク児出生までの経過、児の病態、治療方針について理解し、アセスメントと児の状態に応じたケアについて述べられる。
- 6) ハイリスク児が家族に与える影響をアセスメントし、家族を含めた包括的なケアについて考察できる。
- 7) ハイリスク妊産褥婦やハイリスク児の退院に向けた支援など医療施設内や地域関連施設との連携の在り方について学び考察できる。
- 8) ハイリスク母児とその家族へのケアの際の助産師の役割と倫理的態度について考察できる。

3. 教育の方法、進め方、評価等

1) 実習施設

島根大学医学部附属病院
日本赤十字社益田赤十字病院
東部島根医療福祉センター

2) 実習時期 (期間)

1 年次後期 (2 週間)

3) 実習内容

- ・無痛分娩を行う産婦管理及び助産ケア (分娩介助を含む)
- ・ハイリスク妊婦事例の受け持ち実習
- ・NICU 見学実習
- ・重症心身障害児の生活見学実習

【評価】

実習目標に沿って以下の内容から総合的に評価する

実習記録、実習への取り組み姿勢、妊産褥期の評価表、カンファレンス参加状況、
実習レポート